

グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド

追加型投信／内外／株式

愛称：健次

第26期（決算日：2017年2月27日）

作成対象期間

（2016年8月30日～2017年2月27日）

第26期末（2017年2月27日）	
基準価額	9,425円
純資産総額	281,244百万円
騰落率	13.7%
分配金合計	0円

受益者のみなさまへ

投資家のみなさまにはご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンドは、このたび第26期の決算を行いました。

当ファンドは、世界主要先進国市場のヘルスケア・バイオ関連企業の株式を実質的な主要投資対象とし、ファンダメンタルズの健全な企業へ長期的なバリュー投資を行うことで信託財産の中長期的な成長をめざして運用することを目的としております。

当期は、米ドルなどの投資先通貨が円に対して上昇したことなどがプラスとなり、基準価額は期首に比べ上昇しました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後については、引き続き、ファンダメンタルズ分析による徹底したボトムアップ・アプローチに基づき、銘柄の時価総額規模にとらわれず、割安な価値に放置され、今後長期的に株価の上昇が見込まれる銘柄や市場平均以上の収益拡大が見込まれると判断される銘柄などに投資を行う方針です。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記〈照会先〉ホームページにアクセスし、「基準価額一覧」もしくは「ファンド検索」から当ファンドのファンド名称を選択することにより、ファンドの詳細ページにおいて運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社まで、お問い合わせください。

〈照会先〉

- ホームページアドレス
<http://www.am.mufg.jp/>
- お客さま専用フリーダイヤル
0120-151034
（受付時間：営業日の午前9時～午後5時、土・日・休日・12月31日～1月3日を除く）



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号

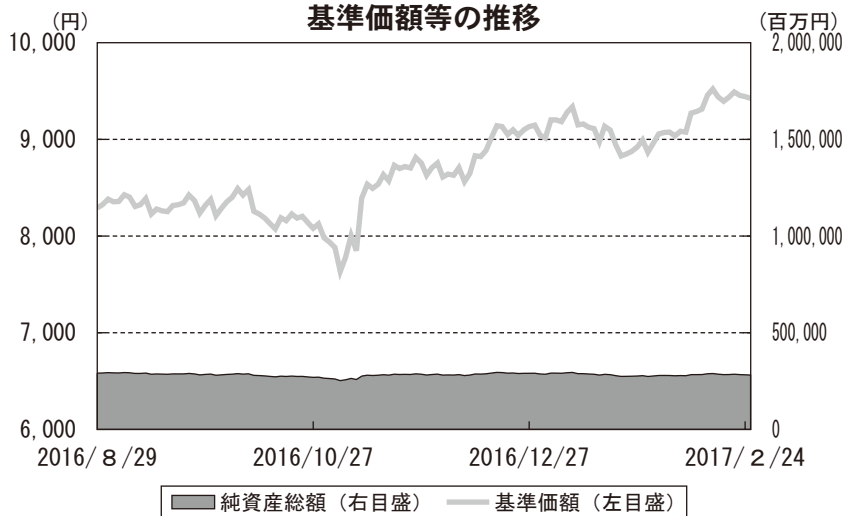
運用経過

当期中の基準価額等の推移について

(第26期：2016/8/30～2017/2/27)

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ13.7%の上昇となりました。



基準価額の主な変動要因

上昇要因

米ドルなどの投資先通貨が円に対して上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。

1万口当たりの費用明細

(2016年8月30日～2017年2月27日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	102円	1.193%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× (期中の日数÷年間日数)
(投信会社)	(60)	(0.705)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販売会社)	(37)	(0.434)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(5)	(0.054)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.017	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株式)	(1)	(0.017)	
(c) 有価証券取引税	0	0.002	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.002)	
(d) その他費用	1	0.007	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(0)	(0.006)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合計	104	1.219	
期中の平均基準価額は、8,528円です。			

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

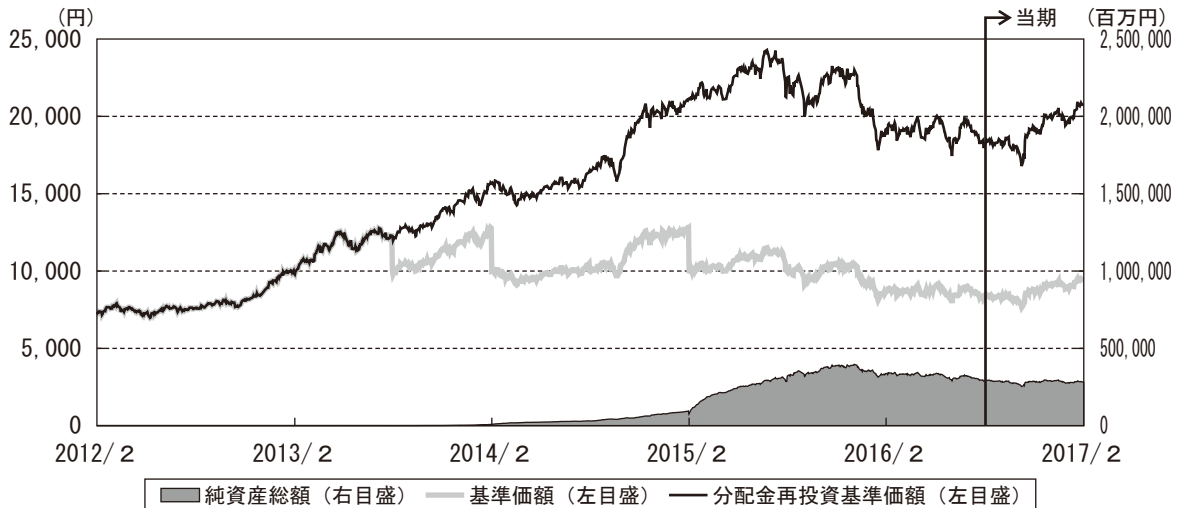
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移について

(2012年2月27日～2017年2月27日)



- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。
- ・分配金再投資基準価額は、2012年2月27日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

最近5年間の年間騰落率

	2012/2/27 期初	2013/2/27 決算日	2014/2/27 決算日	2015/2/27 決算日	2016/2/29 決算日	2017/2/27 決算日
基準価額 (円)	7,351	9,768	10,001	10,000	8,743	9,425
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	5,049.4	3,332	402	0
分配金再投資基準価額騰落率	—	32.9%	60.5%	34.8%	-9.1%	7.8%
参考指数騰落率	—	20.1%	36.5%	18.2%	-8.3%	9.0%
純資産総額 (百万円)	343	356	7,051	74,525	337,388	281,244

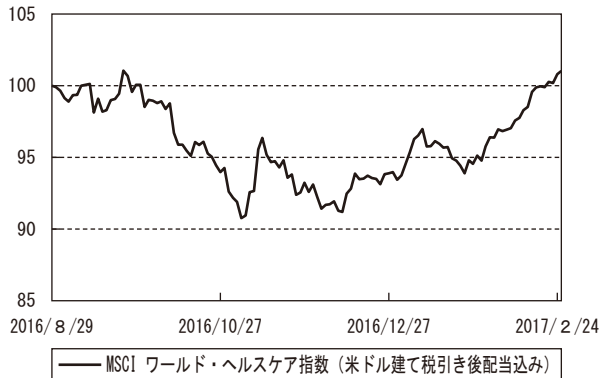
- ・ファンド年間騰落率は、参考指数年間騰落率と比較するため、収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。実際のファンドにおいては、分配金を再投資するか否かは受益者ごとに異なり、また課税条件によっても異なるため、上記の騰落率は一律に受益者の収益率を示すものではない点にご留意ください。
- ・参考指数は米ドル建てであり、為替を考慮していない点にご留意ください。

参考指数は、MSCI ワールド・ヘルスケア指数（米ドル建て税引き後配当込み）の基準日前営業日の指数をグローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンドの設定時（2000年7月28日）を10,000として三菱UFJ国際投信が指数化したものです。
詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

投資環境について

(第26期：2016/8/30～2017/2/27)

参考指数の推移
(期首を100として指数化)



・海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

為替市況の推移
(期首を100として指数化)



◎株式市況

- ・当期のヘルスケアセクターの株価は小幅に上昇しました。
- ・期の初めから2016年12月上旬にかけて、米国の政治家による薬価引き下げを巡る発言や一部企業の臨床試験が期待外れの結果となったことから下落しました。その後、期末にかけて、米上院で医療保険制度改革法（通称オバマケア）の変更についての予算決議案が提出されたとの報道や、トランプ大統領によるヘルスケアセクターに関する規制緩和に加え、新薬の承認スピードを上げるとの発言などが好感されて上昇しました。

◎為替市況

- ・トランプ米大統領による景気刺激策への期待が高まったことなどを背景に、米ドルなどが対円で上昇しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

＜グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド＞

- ・グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、実質的な運用はマザーファンドで行いました。実質外貨建資産については為替ヘッジを行いませんでした。

＜グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンド＞

基準価額は期首に比べ15.1%の上昇となりました。

- ・世界の主要先進国市場の製薬、バイオテクノロジー、医療製品、医療・健康サービス関連企業などのヘルスケア・バイオ関連株を投資対象とし、これらの企業に分散投資を行いました。運用手法はファンダメンタルズ分析による徹底したボトムアップ・アプローチに基づき、銘柄の時価総額規模にとらわれず、今後長期的に株価の上昇が見込まれる銘柄や市場平均以上の収益拡大が見込まれると判断される銘柄などにバリュー投資を行いました。なお、運用指図に関する権限をウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに委託しています。
- ・前記のような方針に基づき運用した結果、組入銘柄の現地通貨ベースでの株価は上昇しました。パフォーマンスに影響した主な銘柄は以下の通りです。

（プラス要因）

◎銘柄

- ・ INCYTE CORP（米国）：血液がん治療薬の開発などを手掛けるバイオ医薬品会社。市場予想を上回る決算発表などが好感され、株価は上昇しました。

（マイナス要因）

◎銘柄

- ・ MCKESSON CORP（米国）：大手の医薬品卸会社。2017年3月期の業績見通しを大幅に引き下げたことが嫌気されたことや、薬価引き下げへの懸念が高まったことなどを背景に、株価は下落しました。
- ・ 為替において、米ドルなどの投資先通貨が対円で上昇したことなどから、基準価額は上昇しました。

(ご参考)

株式組入上位10銘柄

期首 (2016年 8月29日)

	銘柄	比率
1	BRISTOL-MYERS SQUIBB CO	6.0%
2	ALLERGAN PLC	5.9%
3	MEDTRONIC PLC	4.9%
4	ELI LILLY & CO	4.7%
5	MERCK & CO. INC.	4.7%
6	UNITEDHEALTH GROUP INC	4.3%
7	ROCHE HOLDING AG-GENUSSCHEIN	4.2%
8	ASTRAZENECA PLC	3.9%
9	REGENERON PHARMACEUTICALS	3.5%
10	BOSTON SCIENTIFIC CORP	3.4%

期末 (2017年 2月27日)

	銘柄	比率
1	BRISTOL-MYERS SQUIBB CO	5.7%
2	ALLERGAN PLC	5.1%
3	ELI LILLY & CO	4.7%
4	MEDTRONIC PLC	4.3%
5	UNITEDHEALTH GROUP INC	4.1%
6	MERCK & CO. INC.	3.8%
7	CELGENE CORP	3.2%
8	BOSTON SCIENTIFIC CORP	3.2%
9	ASTRAZENECA PLC	3.1%
10	INCYTE CORP	2.7%

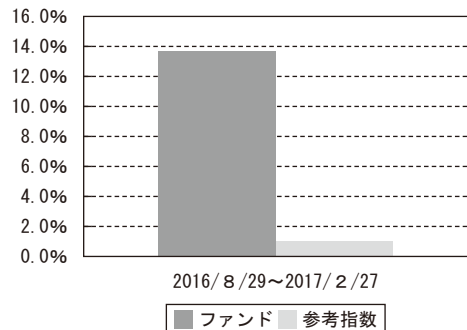


(注) 比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ・参考指数については最終ページの「指数に関して」をご参照ください。
- ・参考指数は米ドル建てであり、為替を考慮していない点にご留意ください。

基準価額と参考指数の対比 (騰落率)



分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準・市況動向等を勘案し、分配金額を決定します。原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円（10,000口当たり）を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。（資金動向や市況動向等により変更する場合があります。）この結果、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】 （単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第26期
	2016年8月30日～2017年2月27日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	51

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド>

◎今後の運用方針

- ・引き続き、グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンドを主要投資対象とし、実質的な運用はマザーファンドで行います。実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

<グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンド>

◎運用環境の見通し

- ・今後も、ヘルスケアセクターは投資魅力が高いとみています。①バイオ医薬品分野での活発なイノベーションや米国食品医薬品局（FDA）による医薬品の承認ペースが2000年代に比べて上がっている傾向にあること、②新興国の経済成長に伴う所得増加や人口増加、③先進国を中心とした世界的な高齢化の進展などを背景に、今後もヘルスケア市場の中長期的な成長が見込まれています。
- ・ヘルスケアセクターの企業収益見通しは引き続き堅調とみています。2016年の米国大統領選挙に際し、薬価などの医療費を巡る政治的議論が活発になったことなどから、投資家のセンチメント（心理）が弱くなり、一時的に企業収益等のファンダメンタルズが株価に反映されにくく、株価の変動が大きくなりました。今後、トランプ政権によるヘルスケアに関する政策が明らかになるにつれ、次第に落ち着きを取り戻すとみています。
- ・また、医療保険料の上昇や医療費の財政負担の高まりなどを背景に、医薬品や医療サービスへの価格抑制圧力は今後も強まる見通しです。合併・買収（M&A）についても、価格抑制圧力に対応すべく規模の拡大によるコスト削減や、開発中の新薬や新技術の獲得などを目的に、引き続き活発に行われるとみています。

◎今後の運用方針

- ・引き続き、世界の主要先進国市場の製薬、バイオテクノロジー、医療製品、医療・健康サービス関連企業などのヘルスケア・バイオ関連株を投資対象とし、これらの企業に分散投資を行う方針です。なお、運用指図に関する権限をウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに委託しています。
- ・運用手法はファンダメンタルズ分析による徹底したボトムアップ・アプローチに基づき、銘柄の時価総額規模にとらわれず、今後長期的に株価の上昇が見込まれる銘柄や市場平均以上の収益拡大が見込まれると判断される銘柄などにバリュー投資を行う方針です。医薬品や医療サービスへの価格抑制圧力や、バイオテクノロジーなどの技術の発展は、将来的に企業間のグローバルな優勝劣敗をもたらすと予想されるため、個別銘柄の選別がより重要と考えており、銘柄を厳選していく方針です。

お知らせ

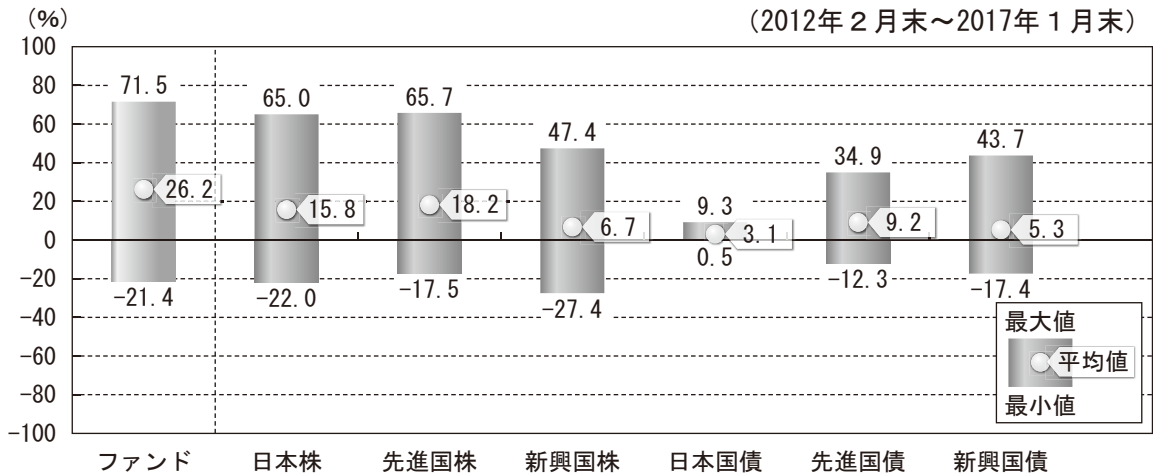
- ①信用リスクを適正に管理する方法を新たに定める（分散型に分類）ため、信用リスク集中回避のための投資制限の追加およびこれに伴う投資制限の記載の変更を行い、信託約款に所要の変更を行いました。（2016年11月25日）
- ②2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<http://www.am.mufj.jp/>）をご覧ください。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2029年2月27日まで（2004年2月27日設定）	
運用方針	ファミリーファンド方式により、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンド受益証券
	グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープンマザーファンド	世界主要先進国市場のヘルスケア関連企業およびバイオテクノロジー関連企業の株式
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・世界主要先進国市場のヘルスケア・バイオ関連企業の株式を主要投資対象とします。 ・ファンダメンタルズの健全な企業へ長期的なバリュー投資を行います。 ・外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 ・運用指図に関する権限の全部または一部をウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに委託します。 	
分配方針	<p>毎年2月27日および8月27日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準・市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円（10,000口当たり）を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。（資金動向や市況動向等により変更する場合があります。）</p>	

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



○上記は、2012年2月から2017年1月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

○各資産クラスの指数

- 日本株 : TOPIX (配当込み)
- 先進国株 : MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
- 新興国株 : MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
- 日本国債 : NOMURA-BPI (国債)
- 先進国債 : シティ世界国債インデックス (除く日本)
- 新興国債 : JPMORGAN GBI-EM グローバル・ダイバーシファイド

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- ・全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。
- ・ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。
- ・騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

当該投資信託の組入資産の内容

(2017年2月27日現在)

組入ファンド

(組入銘柄数：1銘柄)

ファンド名	第26期末 2017年2月27日
グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンド	99.0%

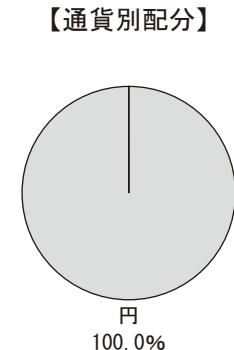
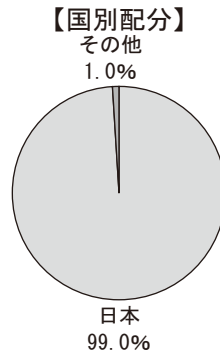
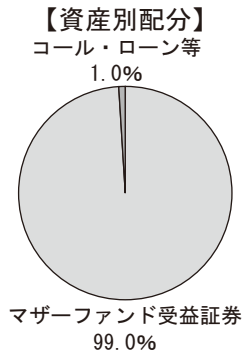
・比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

純資産等

項目	第26期末 2017年2月27日
純資産総額	281,244,023,217円
受益権口数	298,398,986,940口
1万口当たり基準価額	9,425円

・当期中において
追加設定元本は 15,080,297,614円
同解約元本は 67,687,941,214円です。

種別構成等

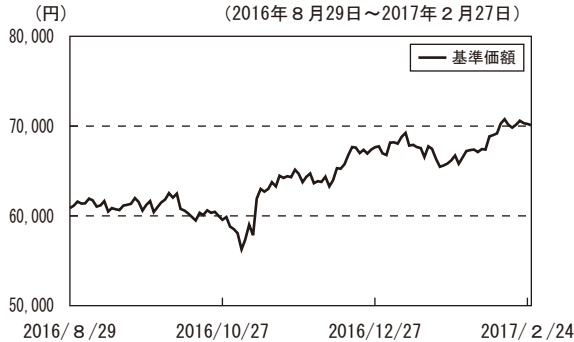


・比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
・国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

組入上位ファンドの概要

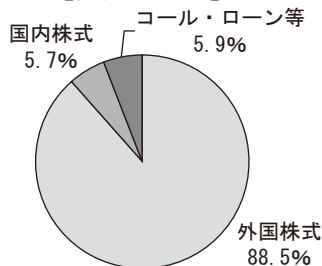
グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンド

基準価額の推移

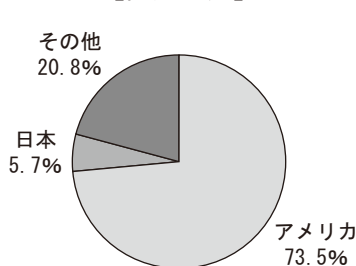


種別構成等

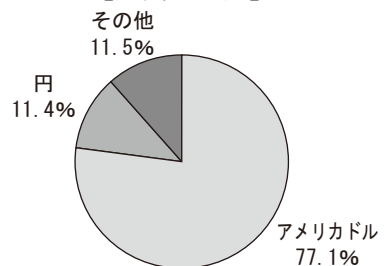
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
- ・国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含みます。

1万口当たりの費用明細

項目	第150期～第155期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	11円	0.017%
(b) 有価証券取引税 (株式)	1	0.002
(c) その他費用 (保管費用)	4	0.006
合計	16	0.025

作成期中の平均基準価額は、62,948円です。

(2016年8月30日～2017年2月27日)

- (注) 1万口当たりの費用明細は、組入れファンドの直近の決算期のもので、費用項目の概要については、2ページの注記をご参照ください。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数：59銘柄)

	銘柄	種類	国	業種/種別	比率
1	BRISTOL-MYERS SQUIBB CO	株式	アメリカ	医薬品	5.7%
2	ALLERGAN PLC	株式	アメリカ	医薬品	5.1%
3	ELI LILLY & CO	株式	アメリカ	医薬品	4.7%
4	MEDTRONIC PLC	株式	アメリカ	ヘルスケア機器・用品	4.3%
5	UNITEDHEALTH GROUP INC	株式	アメリカ	ヘルスケア・プロバイダー・ヘルスケア・サービス	4.1%
6	MERCK & CO. INC.	株式	アメリカ	医薬品	3.8%
7	CELGENE CORP	株式	アメリカ	バイオテクノロジー	3.2%
8	BOSTON SCIENTIFIC CORP	株式	アメリカ	ヘルスケア機器・用品	3.2%
9	ASTRAZENECA PLC	株式	イギリス	医薬品	3.1%
10	INGYTE CORP	株式	アメリカ	バイオテクノロジー	2.7%

- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
- ・なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。
- ・業種はGICS（世界産業分類基準）の産業分類によるものです。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc. およびS&Pに帰属します。（業種は、当期よりGICS（世界産業分類基準）の産業分類を用いております。ヘルスケア・バイオ企業の業種分類として、より合理的と判断したことが変更理由です。本件は情報開示上の分類の変更であり、ファンドの運用方針には影響ありません。）

指数に関して

○ファンドの参考指数である『MSCI ワールド・ヘルスケア指数（米ドル建て税引き後配当込み）』について

参考指数は、MSCI ワールド・ヘルスケア指数（米ドル建て税引き後配当込み）（出所：MSCI）の基準日前営業日の指数をグローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンドの設定時（2000年7月28日）を10,000として三菱UFJ国際投信が指数化したものです。

出所：MSCI。ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性及び完結性をMSCIは何ら保証するものではありません。またその著作権はMSCIに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。

○「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

TOPIX（配当込み）

TOPIX（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数（TOPIX）に、現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。TOPIX（配当込み）に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の停止またはTOPIX（配当込み）の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

NOMURA-BPI（国債）

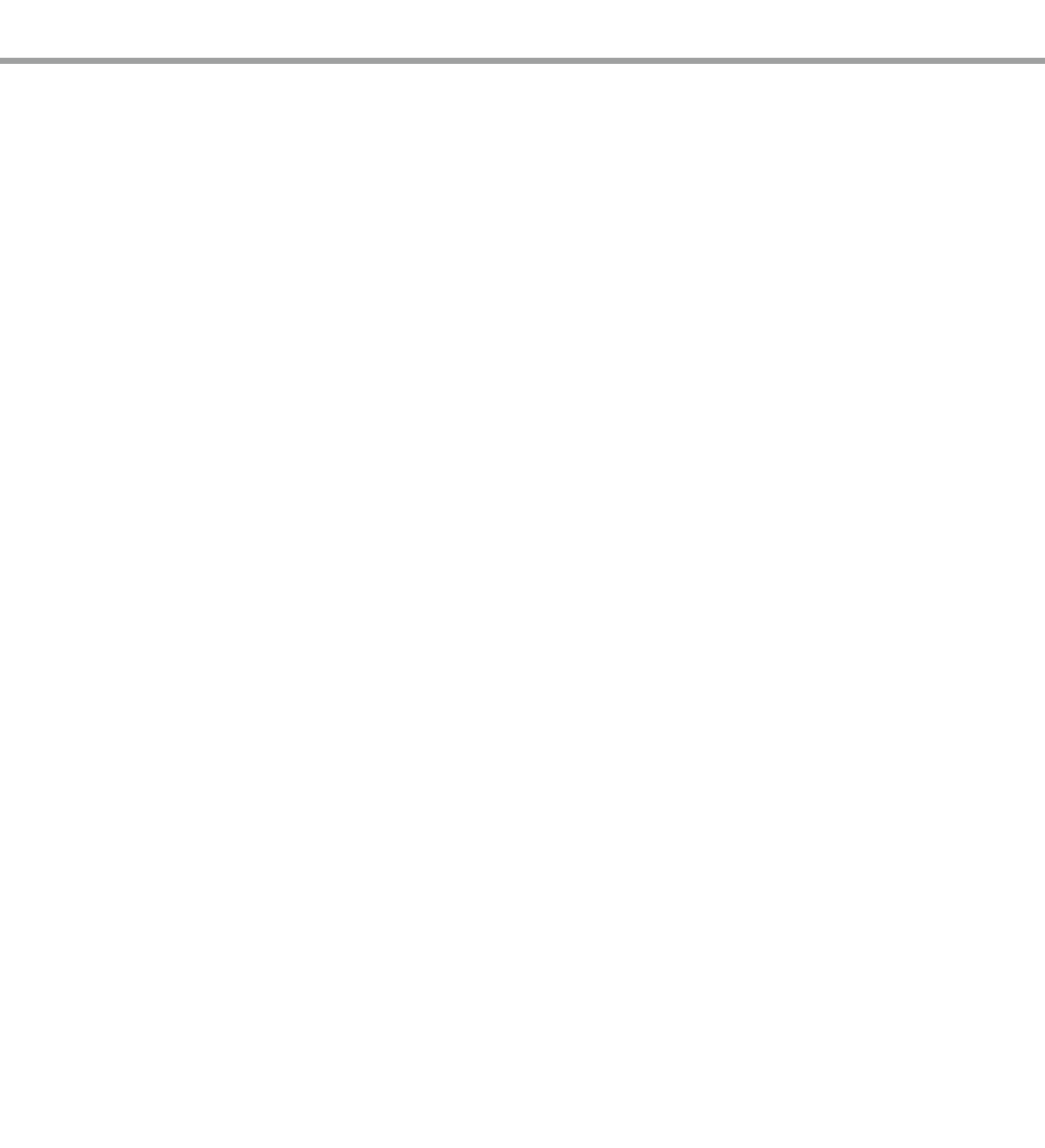
NOMURA-BPIとは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（国債）はそのサブインデックスです。わが国の国債で構成されており、ポートフォリオの投資収益率・利回り・クーポン・デュレーション等の各指標が日々公表されます。NOMURA-BPI（国債）は野村證券株式会社の知的財産であり、運用成果等に関し、野村證券株式会社は一切関係ありません。

シティ世界国債インデックス（除く日本）

シティ世界国債インデックス（除く日本）は、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。





三菱UFJ国際投信